

## 実践団体情報

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
代表者名	校長 永井 和弘
プラン全体のタイトル	金栄小学校災害タイムライン ～My タイムラインの実行と避難率向上を目指せ～
電話番号	0897-37-2313
メールアドレス	n12233@city.niihama.lg.jp
実践団体の説明	平成 16 年豪雨災害の土砂災害や浸水被害などの被災経験から、毎年 5 年生が防災に関するテーマを定め、防災学習に取り組んでいる。 過去に防災科学技術研究所が開催した e 防災マップ部門で 2 年連続最優秀賞を受賞した。
所属メンバー	担当：新居浜市市民環境部 危機管理課 主幹 高橋直樹 5
活動地域	新居浜市金栄校区
活動開始時期・結成時期	2008 年
過去の活動履歴・受賞歴	2014・2015 年 e 防災マップ最優秀賞受賞 2015 年 地区防災計画モデル地区

プラン全体の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎年小学5年生が1年間を通じて防災学習を実施し、命を守る行動などの防災力向上を目的としている。</li> <li>2 今年度は、コロナ禍のため住民が集う機会がなかったため、地域防災新聞を作成して、地域住民に対し回覧を行い、防災学習などから学んだことを伝える。</li> <li>3 児童及び保護者に対して、防災アンケートを実施し、1年間学んだ防災学習の成果を今後の防災学習に繋げる。</li> </ol>
----------	---

## プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月			
5月	年間計画立案		
6月	関係機関との協議	防災学習打合せ	
7月	関係機関との協議	防災学習打合せ	防災アンケート
8月	防災学習		過去の災害について
9月		まちあるき打合せ	防災力を高めよう 防災タイムラインについて
10月	防災学習 防災まちあるき		防災マップについて まちあるき まちあるき結果整理 防災アンケート
11月	防災学習	防災学習発表会打合せ	防災マップ作製 地域防災新聞作製
12月	防災学習	防災学習発表会打合せ	防災マップ作製 地域防災新聞作成
1月	防災学習		防災学習発表会準備 防災学習発表会
2月	防災学習		防災学習取りまとめ 防災アンケート
3月	まとめ 次年度計画立案		

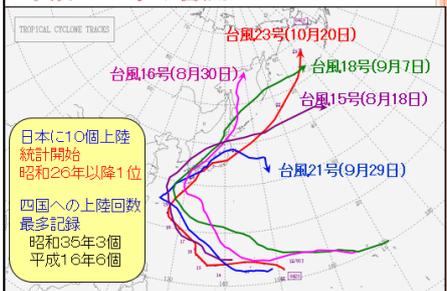
プラン全体の反省点・課題・感想	<p>新型コロナ感染防止に伴い、年度初めから臨時休校となり、授業に遅れが生じました。このことから、防災学習より通常の授業を優先し、授業の遅れを取り戻すこととしました。</p> <p>1学期の防災学習は断念し、2学期からスタートを切り、学校と調整しながら例年どおりの防災学習を進めましたが、ソーシャルディスタンスなど、様々な制約があるなか、防災学習を進めました。</p>
今後の活動予定	<p>近年の豪雨などによる自然災害は、大規模化及び広域化しており、各地で甚大な被害が発生しております。このことから、児童が学んだことを保護者、地域住民に発信し、防災力向上を図ることが必要です。</p> <p>過去に被災した経験を活かし、土砂災害、浸水被害から命を守り、被害の軽減に努めるよう、金栄校区がワンチームとなって、取り組みを進めていきます。</p>

## 実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	1
タイトル	過去の災害について
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 8 月 28 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 平成 16 年豪雨災害画像

達成目標	新居浜市内及び全国各地で発生した過去の自然災害について学び、自分たちの地域で自然災害が発生した際の命を守る大切さ並びに自助、共助の重要性を学ぶ。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<p><b>今日の授業の目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 金栄校区、新居浜市の過去の災害内容を知る。</li> <li>▶ 金栄校区で災害が発生した場所を知る。</li> <li>▶ 金栄校区で発生する可能性がある災害を知る。</li> <li>▶ 金栄校区のハザードマップを見て、地域のことを知る。</li> </ul>	<p><b>平成16年の台風</b></p> 
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 金栄校区、新居浜市及び全国で発生した過去の自然災害を知る。</li> <li>2 金栄校区で自然災害が発生した個所及び発生する可能性がある個所を知る。</li> <li>3 金栄校区のハザードマップを見て地域の災害特性を知る。</li> </ol>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>可能な限り、当時の画像を使用し、目で見えて学ぶことに努めた。</p>	
<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>		
<p>関係者の名前・団体名</p>		
<p>関係者の説明</p>		
<p>関係者の連絡先</p>		

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>自助、共助の重要性</p>

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	2
タイトル	防災力を高めよう
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 9 月 8 日 (火) 9 時 30 分～11 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC

達成目標	1 地域の危険箇所及び新居浜市で発生した平成 16 年豪雨災害の画像を活用して、地域の地理的特性を知る。 2 避難経路、避難所、災害用防災資機材などについて学び、学校における防災リーダーの役割を担えるように防災力を身に付ける。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<p><b>今年度の防災教育の取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 金栄校区、新居浜市の過去の災害内容を知る。</li> <li>▶ 金栄校区で災害が発生した場所及び発生する可能性がある災害を知る。</li> <li>▶ 金栄校区の地図を見て、地域のことを知る。</li> <li>▶ 地域の人に命を守る大切さを発信する。</li> <li>▶ タイムラインを活用して自分の命は自分で守る。</li> </ul>	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今日からできることとして、防災に対するスイッチを入れ、防災に関心を持つ。</li> <li>2 大雨などが降った際には水路があふれるなどして危険箇所となることを学ぶ。</li> <li>3 土砂災害・浸水被害から身を守り、率先して家族及び地域住民とともに地域を守れるよう知識を習得する。</li> </ol>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>平成 16 年豪雨災害などの被災画像を使用し、目で見て学ぶことに努めた。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>平成 16 年豪雨災害の被災経験から地域の災害特性を伝える。</p>

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	3
タイトル	防災タイムラインについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 9 月 15 日 (火) 9 時 30 分～11 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC

達成目標	1 令和元年度に作成した金栄小学校災害タイムラインの時系列に基づき、防災行動を学び、各自のタイムラインを考える。 2 実災害発生時に、タイムラインに基づく防災行動を取ることができるか今後検証する。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 避難行動を判断する時に有効な情報として今後の天気を確認する。</li> <li>2 避難を開始するまでに準備・考えておくことを話し合う。</li> <li>3 有事の際に備え、防災グッズの準備、防災マップから情報を得る。</li> <li>4 避難行動を判断する際の気象情報の入手方法及び避難行動を判断する際の有効な情報について学ぶ。</li> </ol>						
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 台風が発生してから災害が発生し、河川が氾濫するまで時系列に沿って知識の習得ができた。</li> <li>2 3日前から河川が氾濫するまでの主な備えについて、個人及び家族が身を守る行動について学ぶことができた。</li> </ol>						
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">知識・技能</td> <td style="width: 50%;">大いに</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>大いに</td> </tr> <tr> <td>学びに向かう力・人間性</td> <td>大いに</td> </tr> </table>	知識・技能	大いに	思考力・判断力・表現力	大いに	学びに向かう力・人間性	大いに
知識・技能	大いに						
思考力・判断力・表現力	大いに						
学びに向かう力・人間性	大いに						
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>始めて見聞きする防災タイムラインの重要性、事前に行っておくべき備えについて理解することに苦勞した。</p>						

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>金栄小学校災害タイムラインを幅広く伝える。</p>

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	4
タイトル	防災マップについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 10 月 9 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	4 人
防災教育の対象者の属性	小学生 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC

達成目標	1 まちあるきの実施に向けて、新居浜市防災マップを活用して、凡例に基づき地域内の危険個所などを調べる。 2 金栄校区の白地図を活用して、グループごとに地域の地理的特性など地図に記載し、金栄校区の特色を知る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<p><b>まち歩きに向けて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 金栄校区で過去の災害内容や発生した場所を歩いてみよう。</li> <li>▶ 地域の方に過去の災害について聞いてみよう。</li> <li>▶ 金栄校区で災害が発生する可能性がある場所を調べてみよう。</li> </ul>	<p><b>地域の様子をマジックで地図にマーキングしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 平時に役立つ施設 <b>【緑●】</b> 市役所、消防署、分団詰所、警察署、交番、病院、公民館、自治会館、社会福祉施設、その他公共施設など</li> <li>▶ 災害(平常)時役立つ施設など <b>【青●】</b> 避難所、防災倉庫、重機、消火栓、防火水槽、コンビニ、スーパー、ドラッグストアなど</li> <li>▶ 危険物施設、危険箇所 <b>【赤●】</b> 危険物施設、毒劇物等取扱施設など</li> </ul>
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 まちあるきに向けて、過去の被災内容や被災個所を事前に調べる。</li> <li>2 被災者の方から平成 16 年豪雨災害による被災体験を聞き取りするために事前にグループで協議を行う。</li> <li>3 災害時に土砂災害及び浸水被害などの可能性がある個所について、金栄校区防災マップを活用して予備知識を持つ。</li> </ol>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>防災マップの凡例から避難所となる施設、河川越水による浸水域、土砂災害警戒区域などについて知識の習得を行った。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>土砂災害・浸水被害から身を守る大切さを知る。</p>

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	5
タイトル	防災まちあるき
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 10 月 15 日 (木) 9 時 00 分～12 時 00 分
実践の所要時間	3 時間
実践の運営側で動いた人の人数	30 人
防災教育の対象者の属性	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 100 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 金栄校区自治会・金栄公民館・社会福祉協議会・民生委員

達成目標	1 防災まちあるきを各自治会単位のグループで、被災箇所、危険箇所、災害時有効な施設及び場所などを調査する。 2 平成 16 年豪雨災害にて被災した地域住民から、当時の状況について話を聞き、取りまとめ資料に反映する。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>		
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災まちあるきを実施して、過去の災害内容や発生した個所及び災害時に有効となる施設等を調査する。</li> <li>2 防災マップ作製時の基礎資料として、平成16年豪雨災害の被災者から被災体験の聞き取りを行う。</li> <li>3 地域の住民と防災まちあるきを行うことにより、平時から顔の見える関係づくりを行う。</li> </ol>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>防災まちあるきに同行する地域住民と事前打ち合わせを行い、平成16年豪雨災害時の被災状況など、具体的な話など被災後の大変さを伝えていただいた。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>金栄校区自治会・金栄公民館・社会福祉協議会</p>
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域内の危険箇所などの存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (20 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	6
タイトル	防災まちあるき結果整理・防災マップ作製 地域防災新聞作成・防災学習発表会準備
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000 円未満
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	10 月 23 日、11 月 12 日・26 日、12 月 15 日・18 日 2021 年 1 月 12 日・15 日・(予定) 29 日
実践の所要時間	20 時間
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性	小学 5 年生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 63 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市市民環境部 危機管理課職員 PC

達成目標	1 防災まちあるきで調査した結果を取りまとめ、防災マップ及び地域防災新聞の作製に取組み、自治会回覧を通じて情報共有を図る。 2 参観日で 1 年間の防災学習で学んだことを発表し、地域ごとの災害特性について情報共有を行う。	
どの力を身につけよう としましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>		
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災まちあるきにて調査した結果を、画像及びまちあるきで感じたコメントなどを防災マップに反映した。</li> <li>2 防災学習及び防災まちあるきから身につけた知識などから地域防災新聞を作成し、今後自治会回覧にて情報共有を図る。</li> <li>3 参観日を活用して、1年間の防災教育の取り組みを発表するため、発表準備を行う。</li> </ol>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 初めて作成する地域防災新聞をより見やすく、内容を伝えやすくすることに工夫した。</li> <li>2 コロナ禍の中、例年同様の取り組みができない中、学校と調整を図り、実施可能な取り組みを感染防止に努めながら実施した。</li> </ol>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>金栄校区自治会・公民館・社会福祉協議会・</p>
<p>関係者の説明</p>	
<p>関係者の連絡先</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>土砂災害・浸水被害から命を守り、過去の被災経験を後世に伝える。</p>